

# CASBEE® 新築[簡易版]

# 評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-新築(簡易版) 2010年版 使用評価ソフト: CASBEE-Ncb\_2010(v.1.8)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	重要港湾舞鶴港舞鶴港特別整備工	階数	地上1F
建設地	京都府舞鶴市字下安久1042番	構造	RC造 S造
用途地域	準工業地域 法22条地域	平均居住人員	( )
気候区分		年間使用時間	0 時間/年
建物用途	工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2014年12月 0.0	評価の実施日	2013年12月20日
敷地面積	6,281 m <sup>2</sup>	作成者	株式会社園建築事務所
建築面積	2,659 m <sup>2</sup>	確認日	2013年12月24日
延床面積	2,635 m <sup>2</sup>	確認者	竹内秀雄

外観ベース等  
図を貼り付けるときは  
シートの保護を解除してください

### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 0.3

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

標準計算  
①参照値 100%  
②建築物の取組み 100%  
③上記+②以外の 99%  
④上記+ 99%

(kg-CO<sub>2</sub>/年・m<sup>2</sup>)

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

Q2 サービス性能  
Q3 室外環境(敷地内)  
LR1 エネルギー  
LR2 資源・マテリアル

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質 Q のスコア = 1.8

#### Q1 室内環境

Q1のスコア = 0.0

音環境	N.A.
温熱環境	N.A.
光・視環境	N.A.
空気質環境	N.A.

#### Q2 サービス性能

Q2のスコア = 2.6

機能性	1.5
耐用性	2.8
対応性	4.1

#### Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 1.1

生物環境	1.0
まちなみ	1.0
地域性・地域性	1.5

LR 環境負荷低減性 LR のスコア = 2.8

#### LR1 エネルギー

LR1のスコア = 2.8

建物の	N.A.
自然エネ	4.0
設備システ	2.0
効率的	3.0

#### LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 2.7

水資源	2.2
非再生材料の	2.7
汚染物質	3.0

#### LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 2.9

地球温暖化	3.0
地域環境	2.8
周辺環境	3.0

3 設計上の配慮事項		その他
総合		0
間口を狭く奥行を伸ばした平面形状とすることで、構造部材及び工事にかかるコストを抑えた計画としている。構造体、設備配管を露出させメンテナンス性、更新性を向上させることで持続可能な建築としている。		
Q1 室内環境	Q2 サービス性能	Q3 室外環境(敷地内)
建物用途が倉庫(非居室)のため、特に室内環境に関して特別な配慮は行っていない。	建物用途が倉庫(非居室)のため、居住性に関して特別な配慮は行っていない。内部仕上を行ってならず、構造体が剥き出しであるため、建物のメンテナンス、設備機器の更新が容易である。将来的な用途の変更に柔軟に対	敷地内の道路側に緑地帯を設けることで、周辺環境への配慮を行っている。
LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル	LR3 敷地外環境
トップライトを設けることで、照明器具を使用しない状態で屋内作業上、必要最低限の明るさを確保している。太陽光発電設備を設けることで、屋内照明で使用する電力を補っている。	外壁仕上材、屋根仕上材の施工に際して接着材を使わずビス留めにより取付しているため、仕上材と躯体の分別が容易である。内部仕上を行っていないため設備配管の撤去分別が容易である。	建物のボリュームを可能な限り低く抑えることで、風下となる地域への風通りに影響が出ないように配慮している。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される